

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-3-3	事業名	地下鉄ICカードシステムの導入																															
担当	交通局事業管理部経営企画課 神 896-2719																																	
<b>全体計画</b>																																		
事業内容	平成20年度内の地下鉄でのICカード導入に向けて、老朽化に伴う改札機等の駅務機器の更新と併せて、関連機器のICカード化への対応を行う。 現在、ICカードで提供するサービス内容について具体的な検討を進めているところであり、路面電車やバスとの共通化についても、その実現に向けて検討を行っている。 さらに、クレジット決済との連携やICカードを利用した少額決済(電子マネー)のほか、地元事業者と連携した新たなサービスや行政サービスへの活用を可能とするような枠組みについても、関係部局と連携しながら整備していく。																																	
	<年度別の事業内容>																																	
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="6">(IC対応台数/全台数)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H20末</th> <th>H21末</th> <th>H22末</th> <th colspan="2">H23末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改札機</td> <td>213台/392台 54%</td> <td>268台/396台 68%</td> <td>317台/388台 82%</td> <td colspan="2">368台/368台 100%</td> </tr> <tr> <td>券売機</td> <td>175台/266台 66%</td> <td>207台/258台 80%</td> <td>252台/252台 100%</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>精算機</td> <td>90台/159台 57%</td> <td>116台/161台 72%</td> <td>152台/152台 100%</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>					(IC対応台数/全台数)							H20末	H21末	H22末	H23末		改札機	213台/392台 54%	268台/396台 68%	317台/388台 82%	368台/368台 100%		券売機	175台/266台 66%	207台/258台 80%	252台/252台 100%			精算機	90台/159台 57%	116台/161台 72%	152台/152台 100%	
(IC対応台数/全台数)																																		
	H20末	H21末	H22末	H23末																														
改札機	213台/392台 54%	268台/396台 68%	317台/388台 82%	368台/368台 100%																														
券売機	175台/266台 66%	207台/258台 80%	252台/252台 100%																															
精算機	90台/159台 57%	116台/161台 72%	152台/152台 100%																															
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(予算)																															
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICカード関連機器等の開発</li> <li>センターシステム</li> <li>社局サーバ、駅サーバ、運用サーバ中継機</li> <li>改札機、券売機、精算機</li> <li>窓口処理機</li> <li>定期券発行機</li> <li>輸送管理システム改修</li> <li>ネットワーク工事</li> </ul> (参考) <ul style="list-style-type: none"> <li>札幌ICカード協議会の設立(H19年11月)</li> <li>ICカードの名称をSAPICA(サピカ)に決定する。(H20年3月)</li> <li>ICカード基本シンボルのデザインの決定(H20年3月)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ICカード関連機器等の開発</li> <li>社局サーバ、駅サーバ、運用サーバ中継機</li> <li>改札機、券売機、精算機</li> <li>窓口処理機</li> <li>定期券発行機</li> <li>輸送管理システム改修</li> <li>ネットワーク工事</li> <li>整備状況(IC化対応率)</li> <li>改札機213台(54%)、券売機175台(66%)、精算機90台(57%)</li> </ul> (参考) サービス開始 H21年1月を予定 SAPICAの種類 <ul style="list-style-type: none"> <li>無記名SAPICA(大人) 氏名等の登録の必要がなく、だれでも使用できる。</li> <li>記名SAPICA(大人、子ども) 氏名等を登録し、登録者のみが使用できる。 紛失の際は再発行が可能である。</li> <li>SAPICA定期券(大人/通勤、通学)(子ども/通学) 記名SAPICAに定期券機能を付加した。 定期区間外の利用でも自動的に改札機で精算される。</li> </ul>																															
<b>達成目標の状況</b>																																		
項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)																											
地下鉄へのICカードの導入		-	-	導入	/	/	導入 (20年度)																											
<b>市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)</b>																																		
市民との連携、市民参加 ICカードの名称を決定するにあたり、市民の意向を把握するため、名称候補に関する市民意向調査を実施した。																																		
企業等との連携、協働 [その他の協力]公共交通の活性化と地域の利便性の向上に資する共通ICカードの導入を目指して、札幌市とバス事業者が共同で札幌ICカード協議会を設立した。(H19年11月)																																		
市民・企業等が参加しやすい環境づくり																																		

## 平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	5-3-3		事業名	地下鉄ICカードシステムの導入		
評価(成果)			課題			
地下鉄でのICカードシステムの導入に向けて、着実に準備作業を進めている。			ICカードシステムの確実な稼働 事前の試験検証や職員教習を確実に進め、システムの安定稼働により、お客さまのICカードに対する信頼を確保する。 ICカードサービスの周知徹底 お客さまに新しい乗車券システムを知っていただき、早期にICカードを利用いただくため、ICカードサービスの周知強化に取り組む。 連携サービスの推進 ICカードの利用促進につながる事業連携を推進する。			
今後の事業の予定・方向						
ICカードのサービス内容(予定) ・交通利用ポイントの付与 地下鉄の利用実績に応じてポイントを付与し、貯まったポイントは料金の支払いに充当可能 ・券売機での定期券発売 地下鉄単独のIC定期券は、原則として、すべての地下鉄駅の券売機で購入可能 ・オートチャージサービスの実施 改札機から自動的にICカードに入金可能						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	1,201,210	1,387,492	312,197	370,101	3,271,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	0
	市債	1,201,210	1,387,492	312,197	370,101	3,271,000
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
予算	事業費	1,201,210	1,410,260	-	-	2,611,470
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債	1,201,210	1,410,260			2,611,470
	その他	0	0			0
	一般財源	0	0			0
実績	事業費	1,168,789	-	-	-	1,168,789
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債	1,168,789				1,168,789
	その他	0				0
	一般財源	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				78.8%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
[20年度]						
ICカード関連機器のシステム追加に対応するため、その改修費を計上した。						